

ユニテ 佐賀県看護連盟だより

2026 new year

UNITÉ

2026年3月 春号 VOL. 41

SAGA PREFECTURE NURSING FEDERATION



contents

会長あいさつ

国会議員から会員へのメッセージ

施設紹介 訪問看護ステーション いちご(佐賀市)

会員活動紹介

特集 佐賀県看護連盟の看護職メンタルヘルスケアへの取り組み ほか

佐賀県
看護連盟
会員数
1,010名
(2026年2月現在)



看護連盟 X



Instagram



公式LINE

〒849-0201 佐賀市久保田町徳万1997-1
TEL: 0952-68-5437
FAX: 0952-68-5438
E-mail: info@sagakangorenmei.main.jp
発行責任者 会長 宇曾谷美保子



ホームページ

**佐賀県看護連盟会長 宇曾谷 美保子**

日頃より佐賀県看護連盟の活動に対し、ご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。

2025年度の補正予算では、私たちの要望通り、賃上げ、物価上昇に対応するための基礎支援として病院への重点的な支援が盛り込まれました。また、2026年度の診療報酬改定では、人件費等に充てられる「本体部分」の改定率が3.09%となる予定です。一方で診療報酬改定の趣旨が十分に現場へ浸透し、その効果が看護職の処遇改善や働きやすい職場環境の整備につながるよう、運用面での課題にも引き続き目を向けていく必要があります。

今後も県内で働く看護職の声をしっかりと政策に届け、看護職の働きやすい環境整備につながるよう、佐賀県看護協会や行政、国政・地方議会との連携を一層強めてまいります。

今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

**公益社団法人佐賀県看護協会 藤満 幸子**

連盟会員の皆様、こんにちは。

日頃より、看護協会ならびに看護連盟の活動にご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年7月の参議院選挙では、厳しい情勢の中、石田議員が再選を果たされました。次の選挙は3年後ですが、月日の流れは早く、日々の活動を通して着実な基盤づくりが進められています。

私は、就任以来の半年間、佐賀県看護連盟の皆様とともに、政調懇談会や意見交換会を通じ、看護職の処遇改善や看護基礎教育の課題について協議してまいりました。また、医療機関への経営支援や診療報酬改定に関する要望が補正予算に反映されたことは大きな成果です。

今後も「看護の将来ビジョン2040～命・暮らし・尊厳を守り支える看護」の実現に向け、両団体が連携し、よりよい未来を築いてまいります。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

**日本看護連盟会長 高原 静子**

会員の皆様、新春のご挨拶を申し上げます。

平素より、日本看護連盟活動にご理解、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は皆様のご尽力のおかげで石田まさひろ議員を再び国政の場に送り出すことができました。看護の声を政治に届ける大きな拠点を守り抜くことができましたこと、改めて深く感謝申し上げます。

しかし、日本看護連盟は会員減少という非常に厳しい局面に立たされています。「数」こそが現場の声を政策へと変える源泉です。会員という確固たる後ろ盾があってこそ、力強く政策実現を勝ち取っていくことができます。

今年の干支である「丙午ひのえうま」は、情熱や行動力を意味します。この「丙午」の年が示す通り、これまでの努力を礎として、看護の力をさらに社会へ広げ、飛躍的な発展を遂げる好機ととらえるべきでしょう。

本年が会員の皆様にとって、情熱と挑戦が実を結び、看護の未来を切り開く飛躍の年となりますよう、そして、健康で実りの多い年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

衆議院議員・前文部科学大臣 阿部 俊子

立春の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

あべは昨年10月に文部科学大臣を退任致しました。文部科学大臣在任中は、「誰も取り残さない」教育を掲げ、医療的ケア児対応や不登校の課題、過疎地における学校の存続問題、看護教育のあり方、地域に残る人材育成などに取り組むことができました。これも常日頃、みなさまからのご支援とご指導をいただいたお陰です。

看護職の皆様が直面されている課題は多岐にわたり、その中で培われた経験と知識は、まさに地域社会にとって不可欠な財産であると深く認識しております。

本年も、看護職の皆様が安心して働き続けられる環境づくり、そして専門職としてのさらなる資質向上を支援するため、看護連盟の皆様と連携を密にしながら、より一層努めてまいります。皆様の活動がより円滑に進み、地域医療の発展に繋がるよう、微力ながら尽力してまいります。

春の訪れを心待ちにしつつ、皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。



右：本会議にて発言する阿部俊子議員



大臣退任時文科省前にて



社会保障を守る会決議文を高市総理へ提出



厚生労働委員会にて医療法一部改正について質問



参議院議員・石田 昌宏

佐賀県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。日々、患者さんに寄り添い、支え続けてくださる皆様に、心から感謝と敬意を申し上げます。

国会では、参議院自民党・国会対策副委員長、厚生労働委員会理事、予算委員会委員等を務めています。特に国会対策委員会は小さなミスで国会が止まりかねない緊張感の高い役割です。気を引き締めて、円滑な国会運営を支えてまいります。

2026年度は診療報酬改定が予定されています。物価高や人件費上昇に対応できるよう、診療報酬本体は2000年代以降、最も高い改定率となる大幅プラス改定になりますが、これに加えて、記録類や手続きの簡素化を重点に据えて活動しています。これは、看護師が本来のケアに集中でき、皆様の思いに報いる環境を整えるために欠かせない取り組みでもあります。

看護の未来を切り拓くため、皆様が誇りを持って「今日も良い看護ができた」と実感できる環境づくりに向け、引き続き尽力してまいります。

看護師・保健師であり弁護士でもある 参議院議員 友納りお議員から会員へのメッセージ



佐賀県看護連盟の皆さま、こんにちは！

2026年は、環境大臣政務官兼内閣府大臣政務官（原子力防災）という新たな職務をいただき迎えています。担務は、サーキュラーエコノミー、環境汚染や化学物質などによる健康被害・熱中症対策、東日本大震災からの復興などです。

昨年は、内閣府大臣政務官として、こども家庭庁（母子保健含む）、男女共同参画・女性活躍、共生・共助、孤独・孤立、国際保健、科学技術、宇宙、AIなど幅広い分野を担当し、視野と人脈を大きく広げることができました。看護職の処遇改善、夜勤人員の確保、医療DXを用いた業務負担の軽減、医療安全の推進、ハラスメントなど、現場の声を大切にしながら引き続き取り組みを進めます。

「看護の現場の声を国政に！」初心を忘れず、目の前の課題に丁寧に1つ1つ向き合い、皆さまの期待に応えてまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

Q1 看護師を目指したきっかけは？

17歳、フィリピンで

高校時代にフィリピンの「マザーテレサの家」で、死を目前にした方々がシスターのケアによりとても穏やかな表情をされていて、「看護」という仕事に強く惹かれました。

Q2 看護師からなぜ弁護士に？

医療現場の課題にモヤモヤ

看護実習に出て、看護師の忙しさを知りました。

でも、いくら忙しくても事故が起きたらその責任を問われる現実。そのときに「看護の味方」になってくれる人はいるのかな？と考えたことがきっかけです。

弁護士を目指し司法試験勉強中も、看護の現場に立ち続けました。

Q3 弁護士として心がけていたことは？

看護の原点を忘れずに

トラブルの解決策を検討し、対外的には代理人となることで、少しでも看護師の負担を軽減できるようにと取り組んできました。

医療・看護にかかわる弁護士としてのこれまでの活動

- ・ 医師・看護師が業務上過失致傷罪に問われた事例（刑事事件）において、弁護士として活動。
- ・ 転倒転落、誤嚥、注射による神経損傷など看護職がかかわる医療事故（民事事件）において代理人として活動。
- ・ 患者・家族からのハラスメント対応。
- ・ 訪問看護ステーションなどで日々発生する法律問題の相談対応。
- ・ 看護協会・看護連盟、その他病院などにおいて、看護記録、医療安全などの講義。



環境省政務官室



就任時 首相官邸での集合写真

プロフィール
東京生まれ神奈川育ち。高校時代のフィリピンでのボランティアをきっかけに看護師を志す

- 2003年 東京医科歯科大学を卒業
医療現場での勤務を積む
- 2008年 早稲田大学法科大学院を修了
- 2010年 司法試験合格
- 2011年 弁護士登録
- 2022年 自民党から参院選出馬し初当選
- 2024年 内閣府大臣政務官に就任
- 2026年 現職

施設紹介

一般社団法人 みんなで幸せになる会

訪問看護ステーション いちご

〒840-2203

佐賀県佐賀市川副町大字早津江74

電話番号 080-4626-2395

FAX番号 0952-47-2263

施設管理者 宮崎 香織



施設管理者 宮崎 香織 氏

宮崎さんは、32年にわたり佐賀県医療センター好生館で看護師として地域医療に携わり、ご自身のご両親を在宅で看取られました。その、ご経験から住み慣れた地域で安心して過ごせるようにするために、自分にできることはないかと考え2025年9月に訪問看護ステーションいちごをスタートされました。



訪問を終え利用者の状況を記録する
訪問看護師 近藤 高典 氏



佐賀県看護連盟会員である、宮崎 香織氏にお話をお伺いしました

○「看護ステーションいちご」という名前の由来は？

一期一会の意味もこめて、覚えてもらいやすい言葉を選びました。また、自分の子どもの好物だったからでもあります。

○この地に開業した理由は？

諸富町、川副町に訪問看護が少ないため、地域に何か貢献できることはないかと考えました。

○病院から訪問看護へと働く場が変わって、どのようなことを感じていますか？

訪問看護についての認知度は、一般の方も、病院で働く看護師も、まだ十分とは言えません。病気をしても、少しのサポートがあればご自宅で過ごせる方が増えると感じています。どのような悩みでもご相談いただければ、共に考えることができます。

○訪問看護ステーションいちごの特徴は？

スタッフ全員、「利用者様、ご家族が自分らしく生活 ができるようにしたい」という、共通の思いを持っています。また、質の高い看護が提供できる経験豊かなスタッフが集まっていることです。心を込めた安全・安心の24時間対応ができる訪問看護ステーションです。

○訪問看護のやりがいを教えてください？

一対一の関わりであるため、心に余裕をもって看護することが出来ます。また、患者様の生活の場に入れて頂くという緊張感がありますが、病院では当たり前に行っているケアでも利用者様、ご家族に、とても喜んでいただけます。その笑顔を見た時とてもやりがいを感じます。

長年の経験と、ご自身の看取りの体験を糧に、地域に寄り添う看護を届けたいという宮崎さんの思いは、訪問看護ステーションいちごの随所に息づいています。利用者様やご家族の「その人らしさ」を大切にしながら、安心して暮らし続けられる地域づくりをめざす姿勢は、これからの在宅医療を温かく支えていく存在となるでしょう。これからも、地域に根ざしたやさしい看護の輪が、さらに広がっていくことを願っています。

2025年度 支部長紹介

1支部 高尾 千文



2支部 江里口 八千代



3支部 前田 貴美子



4支部 荒牧 順子



5支部 西野 久美子



唐津支部 益田 孝子



OB支部 倉守 みどり



支部研修スナップ



会員活動紹介

お蔭さまで「老い」を元気に

OB支部 前田 眞理子

2016（平成28）年4月から介護サービス相談員として、利用者とサービス提供施設との橋渡しをしながら、問題改善等介護サービスの質的向上のために活動しています。

「介護相談員派遣事業」の実地主体は唐津市です。市内70箇所の施設を、11名の相談員で訪問しています。

親の介護体験や看護職としての経験がとても役立っています。

毎年、佐賀県在宅生活支援サポートセンターで、鳥栖、杵藤、有田、玄海等の仲間達と2日間の現任研修があります。

利用者の声や相談内容は、

- ① 職員の対応やケア
- ② 食事関連
- ③ 医療健康リハビリ
- ④ 人間関係プライバシー問題等多岐にわたります。

利用者からの話を傾聴したり介護の状況を観察したりします。職員さんとも良いコミュニケーションづくりに努めています。公平な立場の介護サービス相談員の存在は、利用者にとって安心感をもたらします。

「また来てね」と、次の訪問を楽しみにして下さる利用者に元気をもらいます。後期高齢者になりましたが「もう歳だから」ではなく「体の動くうち、運転の出来るうち」は、前向きに相談員として介護現場にかかわっていきたいと思います。



小規模多機能型居宅介護「プラットホーム」での新聞の読み聞かせ



私の地域防災

青年部（3支部） 田代 亜依莉

私は、地域防災には日頃からの備えと地域との繋がりが重要だと考えています。非常持ち出し用の備蓄を整えるだけでなく、外出先や職場で被災する場合も想定し、緊急連絡網の訓練などにも積極的に参加しています。災害時に円滑な助け合いが出来るよう、近所の方とは日頃から挨拶を交わし、顔の見える関係づくりを大切にしながら、無理なく継続できる関わりを今後も続けていきたいと思っています

令和7年度 「ポリナビワークショップin佐賀」 開催

ポリナビとは「Politic Navigators' Network」の略で、「政治」「政策」の観点から日本の社会保障を学び、自分たちにできることを模索して、日本の看護・医療を今より素敵なものにすることを目指しています。今回は広報委員会が取材を兼ねて参加しました。

「看護師のためのメディカルアロマセラピー」 ～疲労・浮腫改善のためのアロマセラピー～

一般社団法人 ICAA会長
岩橋 知美 氏



開会の挨拶をする
柳 典宏 青年部委員長

メディカルアロマセラピーとは一般的なアロマセラピーがリラクゼーションを目的にしているのに対し、臨床やメディカルアロマセラピーは心身の不調を緩和する目的で行うアロマセラピーを指します。

精油ごとの効能や注意点を説明され、それぞれの香りを実体験した後に参加者は思い思いのアロマオイルを作成しました。



特に人気のあった製油は、オレンジ・ラベンダー・レモン・ホーウッドなどのリラックス・リフレッシュや不眠に効果を示すものが多かった。特に柑橘系の香りを選ぶ参加者が多かった。

アロマクラフトを体験して以前はアロマオイルを1種類しか使用していなかったが、アロマクラフトで精油を3種類調合することで自分に合ったアロマオイルが出来た。まずは自分が使ってみて、患者さんに使えたらいいと思った。

参加者の声



後半は
ハンドトリートメント・フットトリートメントの講義が
ありました。

講義のあとに参加者が二人一組となり互いに
手のトリートメントを行いました。



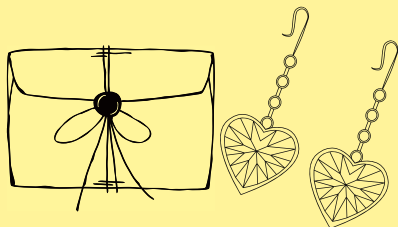
参加者の声

ハンドトリートメントやフットトリートメントを体験して
患者さんの看護に取り入れたいのですが、多忙な毎日
でゆっくりした時間の確保が課題だと感じました。
実際に、がんや、緩和ケアを提供している患者さん
に対して実践してみたいと思いました。
参加者同士、お互いにマッサージを行ったことで距離が縮
まったように感じました。

ポリナビ終了後 青年部・広報委員合同委員会開催され
下記のような意見や課題が見つかりました。

- 看護師の政治関心を高める工夫が必要
- アロマは好評、運動系は人数が集まりやすい
- 宣伝が課題でSNS強化が必要
- 公式SNS開設や他県の事例を参考に検討

手のぬくもりと思い出





佐賀県看護連盟の看護職メンタルヘルスケアへの取り組み

厚生労働省は、令和5年度における過重労働や強いストレスが原因で発症した脳・心臓疾患および精神障害の労災請求件数と支給決定件数を取りまとめた。その中で、精神障害の請求・支給決定件数は年々増加しており、医療系の業種が上位を占めていました。この結果から、医療職の深刻なメンタル不調が伺えます。



衆議院議員 岩田 和親氏(中央)に要望書を手渡す
宇曾谷美保子佐賀県看護連盟会長(右)と
藤満幸子佐賀県看護協会会長(左)

1. 令和7年9月1日 要望書を提出

県選出国會議員、県議會議員(佐賀県看護対策議員連盟所属)に要望書を提出しました。

"経済的ストレス"は働く人の心を弱らせ「看護の質」の低下につながる懸念

医療材料費や光熱費の物価高騰が続くなか、多くの医療・介護施設等が赤字経営に陥り、低賃金や将来不安が職員のメンタルヘルスを損なうリスクが高まっています。特に「努力に見合わない報酬 (effort-reward imbalance)」は強い心理的負荷を生むとされています。また、現在の診療報酬改定では、現場の厳しい状況を改善するには、まだ十分に追いついていないとは言えません。こうした現場の切実な状況を踏まえ、佐賀県看護連盟では適正な診療報酬の確保を求めて要望書を提出しました。

要望事項

1. 令和7年度の補正予算において物価高騰・賃金上昇に苦しむ医療機関等の経営支援策を講じられたい
2. 令和8年度診療報酬改定における、十分な改定率を確保されたい

変化

1. **2025年度補正予算案が成立した**
主に医療機関の賃上げ・物価高騰対策、医療提供体制の確保等の支援として「医療・介護等支援パッケージ」として1兆3,649億円が計上された。
2. **2026年度診療報酬改定の本体改定率を「3.09%増」とする方針が示された**
本体部分、すなわち医師の技術料や看護師等の人権費に充てられる部分の改定率が3%を超えるのは約30年振りとなった。

2. 佐賀県議會議員との意見交換会での要望申し入れ

去る令和6年12月6日に医療従事者等に対するハラスメントの防止、およびメンタルヘルスの維持・改善を目的とした取り組みに対する経費補助について、団体としての申し入れを行いました。医療職のメンタルヘルス事業に対する経費補助制度の創設または拡充を要望しました。その後も継続して改善の動向を確認しています。

上記の要望書を書かれた宮崎マズミ氏にお話をお伺いしました



宮崎 マズミ氏は看護師として病院の勤務経験を経て、産業カウンセラーなどのメンタルヘルスに関する資格を持ち、看護職のメンタルヘルスケアや職場づくりに尽力されています。

やりがいのある働きやすい職場づくりは「私もあなたも大切に」をモットーに「とりあえず話してみる」ことへの敷居を低くすることだと言われています。そこから、個人の心身の健康、トラブルのリスクを軽減させることができるとのことでした。

カウンセリングサロンこち
代表 宮崎 マズミ



3. 佐賀県議会議員との意見交換会での要望申し入れ

令和7年12月15日（金）自由民主党佐賀県看護問題対策議員連盟・佐賀県看護連盟・看護協会との意見交換会を行いました。
県議会議員である指山清範会長 八谷克幸議員 岡口重文議員 古賀陽三議員 池田正恭議員 に対しメンタルヘルスに関する事項では以下を要望しました。

現在、医療・福祉分野では全国的にメンタルヘルス不調による労災請求件数が増加しており、医療現場のストレスの大きさと支援の必要性は極めて高い状況にあります。看護職のメンタルヘルス不調は深刻化しており、質の高い看護提供にも影響を及ぼしていることから、対策を早急に講じ現場の負担軽減と質の高い医療提供体制の維持に向けて善処いただきたい旨を要望しました。

4. メンタルヘルス研修の開催

令和8年2月7日（土）、「日々忙しいナースのためのメンタルヘルス」をテーマに、佐賀大学名誉教授で心療内科医の新地浩一先生をお招きし、講演会を開催いたしました。新地先生は30年以上にわたり職場のメンタルヘルスに取り組みされており、今回は「自分も他者も大切にするためのメンタルヘルスの在り方」について、わかりやすくご講演くださいました。参加者からの多くの質問にも丁寧にお答えいただき、大変貴重な学びの機会となりました。



疲れているあなたへセルフケアの方法お伝えします

どれも小さいモノたちですが、じんわりときいてきますよ。

サポートしてくれる誰かと話す

ゆっくりお風呂につかる

お茶やリフレッシュできる飲み物を飲む

猫や犬を撫でる

散歩、ジョギング、サイクリング

居心地のいい場所を見つける

アロマを楽しむ

とにかく笑う



ベッドに寝転ぶ、ゴロゴロする

主治医の指示通り薬を飲む

主治医やカウンセラーの予約をとる

緑のあるところでひと休み

植物を育てる

安心できる心地いい場所に行く

映画や小説を読む

よいこと日記を書く

ひとりカラオケ



マインドフルな呼吸、3秒吸って6秒吐く、

ヨガをする

バタフライハグをする、左右の肩を「トントン」する、

ジムに行く、適度な運動をする

リラックスできる音楽をまく

朝日を浴びる

服装を変える

絵を描く

広報委員会

EDITOR'S NOTE 編集後記

日々看護の現場で尽力されている皆さまに心より感謝を申し上げます。本誌を通じて仲間と学び合い、皆さまの活動を支える情報の発信となり、看護の力をさらに高めていけたらと思います。

本年も看護連盟の活動へのご理解とご参画をお願いいたします。「ユニテ」が皆さまの活動を支え、寄り添う存在でありますように願っています。

伊東 貴子



私たちがユニテを作っています

広報委員長	川原 研太	佐賀大学医学部附属病院	下右
	伊東 貴子	佐賀県医療センター好生館	上左
	大屋 博紀	伊万里有田共立病院	下左
	百武 千春	唐津赤十字病院	上右

佐賀県看護連盟 会員募集

お知り合いの方には是非看護連盟の
必要性を伝えてください

看護連盟は看護職の代表を国政の場に送り、看護と国民の健康と福祉のため
強力なる活動を推進しています。



○年会費：8000円 ○賛助会員：2000円 ○学生会員：無料

お問い合わせはHPより

お知らせ



佐賀県看護連盟の公式LINEできました

研修情報や申しこみも

こちらからできるようになりました。

ユニテへの記事掲載のご希望や、ご意見ご感想などもお寄せ下さい。



東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

睡眠セミナー講師は状況に応じて感染予防対策を実施しています。

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修
- 高齢者の睡眠ケア
- 学校保健委員会

*他、施設内研修などご相談承ります
(事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です)

◆セミナーに関しましては、二次元コードより
お問い合わせください。担当よりご連絡させていただきます。
<https://www.toyourno.co.jp/seminar>



東洋羽毛九州販売株式会社 長崎営業所
〒856-0046 長崎県大村市木場2-200-1 ☎0120-104-203